

J E M A S 2026年5月セミナー

～電池の進歩と関連する事故防止、事故原因や安全管理と万一の対応～

現在の我々の生活を見回すと各種の電池を用いた機器だらけに驚かせられます。データ処理等の分野ではスマホやパソコン、各種のサーバー類が挙げられます。家庭用品でも持ち運びが容易なものは動力源や熱源として電池が使われています。又、より大きなものとしては自動車（EVやHV等）に加えて各種の災害対策非常用電源、太陽光や風力発電に併設された変動の激しい再生可能エネルギー分野で負荷の平準化にも貢献しています。このことは我々の生活にとって蓄電容量が大きく且つ大出力の放電が可能なリチウム電池 リチウムイオン電池なくしてはありえない時代になったことを示しています。これからもますます より高性能の電池が出てくることが想定されこれが文明の進歩に大きな貢献を与えることと期待されます。

しかし、このような電池の光の部分の影に 近年 電池の不適切な製造や材料の使用 保管時の問題 使用にあたっての不注意 さらにには充電や廃棄時の不適切な取り扱い等に起因するとみられる事故や災害が各所で頻発し、社会に不安を与えてきたのも現実です。

これからはイラン問題に拡大した中東問題が継続する中で、産業や生活を守るという視点で電池の高性能化と高容量化、加えて安全な使用が今後ますます重要になってくると確信しています。

J E M A S 5月のセミナーでは産総研の齋藤喜康様と岡田賢様のお二人を講師にお迎えし再生可能エネルギーに関連しての高性能電池開発を含めた各種の電池関連の技術の進歩と近年の電池に関連しての事故や各種の災害 万一の場合の対応 事故発生防止のために我々が気をつけねばならないことと万一の場合の対策についてお話頂きます。

加えて ご参加の皆様とこの問題に関して日ごろのご不安に感じている点や予防策を含めて、意見交換を行いたいと思っています。今回のセミナーは、z o o mにより開催します。

日 時： 2026年(令和8年) 5月24日(日) 14:00～16:00

ZoomへのアクセスURLは参加申込者に、2～3日前に担当理事から連絡します。

講演テーマ 電池の進歩と安全に使用するためには何が求められるか

講師 50分 齋藤 喜康 様 (省エネルギー技術研究部門 特定技術研究主幹)

40分 岡田 賢 様 (安全科学研究部門 研究グループ長)

質疑応答および意見交換は講演終了後約30分の時間で予定しています。

主 催：NPO法人 日本環境管理監査人協会（J E M A S）

お申し込み：以下の事項を記入し、メールにてご送付ください。参加費は無料です。

申し込み期限は令和8年5月17日(月)24時としますので厳守ください。

講演資料ですが、J E M A S会員を対象に講演会の数日前にJ E M A SのHPの会員専用欄にアップします。

会員外の方で資料ご希望の方はセミナー受付係に連絡ください。2000円でお分けいたします。

非会員の方は是非この機会に是非ご入会ください(年会費8000円、入会費はなし)。

J E M A SのHPは以下の通りです。 <http://jemas.net>

セミナー申し込み先 受付はセミナー受付係宛 E-メール：fukoyama@east.cts.ne.jp

①参加者御氏名

②ご所属(お差支えない場合)

③連絡先のmail address